



玉名市では、平成24年度に策定した「玉名市学校規模・配置適正化基本計画」に基づき学校再編に取り組んでいます。天水中学校区では、令和2年4月に小天小学校と小天東小学校が統合し、小天小学校となりました。また、玉水小学校と小天小学校の統合については、天水町の3つの地区の「地域の代表」「保護者の代表」「学校の代表」の17名の委員から成る『新しい学校づくり委員会』において、令和元年12月から協議を進めてきました。そして、令和4年3月15日に9回目の委員会が開催され、次のとおり協議のまとめを行い、全9回の委員会が終了しました。

今後は、この学校づくり委員会のご意見を基に、玉名市において統合の是非について検討し、決定していきます。

天水中学校区新しい学校づくり委員会の協議のまとめ（抜粋）

天水中学校区新しい学校づくり委員会は、令和元年12月から令和4年3月まで計9回の協議を行ってきました。天水の子供たちや学校の良いところ、もっとここが良くなったらいいなど考えるところ、より良い学びの環境をつくるために何が必要なのか、学力向上のための方策や教育環境の改善について、天水の子供たちの現状と課題を踏まえつつ、統合をしない現状のまま（玉水小学校と小天小学校）と、仮に統合をした場合の、子供たちから見た学級・学校規模のメリット・デメリットについて、そして小中一貫教育について。

（中略）

人口と年少人口の今後一層の減少が進むと予想される中、情報化・グローバル化の急速な進展やAIの発達などにより、子供たちは、今の私達には想像もつかないような世界を生きていくことになると考えられます。子供たちの10年後、20年後、30年後、今の小学6年生は、10年後は22歳、20年後は32歳、30年後は42歳になります。その時に、自分たちで人生を生き抜く力をつけるための教育環境を、私達大人は整えていく必要があります。

協議を通して、天水町の子供たちはやさしく素直でとても素晴らしい、そういった委員の共通の思いがありました。そして、これからの教育と子供たちの未来を考えた時、子供たちがたくましく生き抜く力を身につけるためには、多様な考えに触れて切磋琢磨できる環境を整える必要があると考えます。

教育委員会においては、この天水中学校区新しい学校づくり委員会で協議してきた内容を基に、天水中学校区の学校再編について、「子供のための教育環境整備」の観点を第一に考え、しっかりと議論し検討していただきますよう望みます。



【学校再編の経緯】

- H27.9～H28.10 玉水・小天・小天東の地域・保護者対象説明会
- H28.6 6月議会にて「玉名市立玉水小学校の存続・発展に関する請願」採択
- H30.2 保護者主催 学校再編に関する保護者向けアンケート
- H30.7～H31.2 各小学校区で意見交換会開催
- H31.4～R1.10 天水中学校区新しい学校づくり委員会(小天小・小天東小)
(委員会3回、PTA・通学部会4回)
- R2.4 小天小と小天東小が統合
- R1.12～R4.3 天水中学校区新しい学校づくり委員会(玉水小・小天小)(全9回)

天水中学校区新しい学校づくり委員会の協議のまとめ（全文）及び学校再編の取り組みについては、玉名市ホームページに掲載しています。

【お問い合わせ先】 玉名市教育委員会教育部教育総務課
TEL 0968-75-1133 URL <https://www.city.tamana.lg.jp/>

